

6月は豊島区が高齢者向けの空き家募集をします

福祉住宅 つつじ苑

「家賃が高いので都営・区営住宅に入りたいけど、何回申し込んでも当たらない」と、お困りの方が多いのですが、他にも利用できる豊島区の住宅制度があります。

今回は、その中から6月に高齢者向けの募集がある「福祉住宅つつじ苑」を紹介します。

福祉住宅つつじ苑は、高齢者や障がい者、ひとり親世帯が対象です。現在、賃貸アパートなどに住んでいて、家賃が高いなどの、お困りの方に対して、豊島区が募集し、供給する住宅です。私の経験上、都営・区営住宅よりも、当たって入居される方が多いと感じます。

高齢者向けの空き家募集については、1年に1回、毎年6月に行います。応募された方は抽選で登録順位を決定し、空き家が出たら順次、入居することになります。ただし、空き家が少ないなどの状況によっては、すべての登録者が入居できないことがあります。

今年は6月2日（水）～6月9日（水）の募集期間中に、豊島区が申込み用紙を用意し、区役所、区民事務所、区民ひろばで配布します。ご興味のある方は期間が短いのでお急ぎください。

なお今回は、例年12月に募集していた「区営住宅（家族向け）」と「福祉住宅（ひとり親世帯）」を同期間中に募集することになりました。

【申込み用紙配布と募集の期間】

6月2日（水）～6月9日（水）

（同期間に「家族向け区営住宅」の募集もあります）

【申込み資格】

- ◆高齢者向け住宅は、65歳以上の方が対象となります。2人家族以上の世帯用についても、同居者も65歳以上が対象です。いずれも区内に5年以上住んでいる方が対象です。
- ◆障がい者の方の住宅は、身体障害者手帳等をお持ちの方がいる世帯で、区内に1年以上住んでいる方が対象です。
- ◆ひとり親世帯向け住宅については、区内に1年以上住んでいて、配偶者のいない方で、18歳未満の子どもだけの世帯が対象です。
- ◆住宅に困窮している方が対象です。
- ◆家族の所得合計が、月額214,000円以下の方が対象です。
- ◆申込み者が暴力団員でないこと。

お困りのことは

まずご相談ください

森とおる

内閣府が5月18日に発表した2020年度の国内総生産（GDP、季節調整値）は、物価変動の影響を除いた実質で前年度比4.6%減でした。これはリーマンショック時の2008年度3.6%減を超え、戦後最悪の落ち込みとなりました。

マイナス成長は、消費税増税の影響を受けた2019年度に続き2年連続となりました。これは新型コロナウイルスの影響で、GDPの半分以上を占める個人消費が過去最悪の6.0%を記録したことが最大の要因とされています。消費が冷え込んだ理由は、上がらない所得、雇用への不安、格差と貧困などです。

今やるべきは、「消費税減税」です。コロナ禍で他国ができていますが日本できていないはずがありません。

お困りのことは何でも相談をお寄せください。